

# フランシスコ会イベロ・オリエンタル文書館所蔵 ディエゴ・デ・チンチョン報告書の 日本文字とローマ字書き日本語

川 口 敦 子

## 1. AFIO 23-1 (チンチョン報告書) について

スペイン・マドリードにあるフランシスコ会イベロ・オリエンタル文書館 (Archivo Franciscano Ibero Oriental = AFIO. 旧パストラーナ文書館<sup>(1)</sup>) 所蔵文書のうち、所蔵番号「AFIO 23-1」の文書について、2014年9月の調査を基に報告する。

本資料はフランシスコ会士ディエゴ・デ・チンチョン (Diego de Chinchón) による日本の殉教報告書である (以下「チンチョン報告書」と呼ぶ)。チンチョン報告書には日本文字の文章が書かれているが、欧文主体のキリシタン関係文書の一部として日本文字の文章があるのは珍しい。本稿では、チンチョン報告書中の日本文字のほか、ローマ字書き日本語の表記について、イエズス会資料の表記との相違点、またアビラ・ヒロン『日本王国記』の表記との関連について述べる。

チンチョン報告書 (AFIO 23-1) は47丁から成り、各丁の表右上に1から47までの通し番号が鉛筆で振られている。1丁表に「codex 2」(写本2)、21丁表に「codex 3」(写本3)の書き入れがあるが、「codex 2」と「codex 3」の内容は連続している。1丁表-35丁裏は、前半部分が失われているが、1613年に江戸 (浅草・鳥越) で起こった殉教に関する報告である (末尾に、1614年3月14日の日付と「Fray Diego de Chinchon Commiss.」の署名)。続く36丁表-47丁裏は1613年の有馬の殉教に関する報告である (末尾に、長崎、1613年12月6日の日付と「Fray Diego de Chinchon Commiss.」の署名)。両報告とも同じ筆跡だが、35丁裏だけは筆跡が異なっている。

このチンチョン報告書については、ロレンソ・ペレス師の著作<sup>(2)</sup>と Cayetano Sánchez Fuertes 師の論文<sup>(3)</sup>が参考となる。

著者とされるディエゴ・デ・チンチョンの生年や出生地は不明であるが、Sánchez Fuertes 師によれば、その「デ・チンチョン」という呼称から、マドリード近郊のチンチョンの生まれと考えられる。彼は1610年に宣教団の一員としてスペインからフィリピンに向かい、1612年来日したが、キリシタン迫害のために1614年11月に日本を追放された。1615年の初めにマニラに到着し、ラグナ管区の病院の主任司祭職に従事、1616年にはサン・グレゴリオ管区の責任者に選出されるなどしている。1617年の8月末か9月初めにマニラで死去した。<sup>(4)</sup>

チンチョン報告書の来歴と書誌的情報について、ペレス師は次のように述べる。

これは、一九〇五年、フランシスコ会士ヘロニモ・アギーリョ神父が寄贈した原本である。一八九二年九月、「Revista Franciscana,」 año XXIV, No. 285 で、アギーリョ神父はこの珍しい『報告書』を出版した。これは三冊に書かれていたと思われるが、

第一冊は紛失してしまった。この冊に迫害の原因をつくった人々のことが記されていると思われる。第二冊は、“nes ni se atajauan”で始まり、“apreto mas este desventudaro”で終り、二二三×一七三耗、二十葉で成立っている。第三冊は、“do de manera que a vnos martirizó”で始まり、一六一三年十月七日の有馬殉教者名で終っている。これは第二冊の続きで、前冊と同じ大きさ、二十七葉から成立っている。両冊の文字は、イスパニア語を知らない一日本人のもので、著者が校訂している。第三冊一葉裏に、チンチョン神父の自筆が二行にわたり書いてあり、十五葉裏は、江戸の殉教者の報告が前頁で終わったため、日本人は白紙のままとし、代って、全文チンチョン神父の文字で記され、文末に一六一四年三月十四日の日付があり、署名・花押で終っている。十六ー二十七葉は、“Relacion cierta y verdadera de los ocho martyres de Arima, cuyo martyrio fue a siete de Octubre deste anno de 1613.”の内容が記されている。<sup>(5)</sup>

ペレス師（野間氏訳）の言う「第三冊一葉裏」は35丁裏に相当するのだが、この紙面の文字は本文とは筆跡が異なっており、末尾にディエゴ・デ・チンチョンの「署名・花押<sup>(6)</sup>」があることから、チンチョン本人の筆跡とされる。つまり35丁裏以外の本文はチンチョンとは別筆ということになる。ペレス師は本文の筆者を「イスパニア語を知らない一日本人」（原文「un japonés, que ignoraba el castellano」）とするが、その筆致には迷いが無く字形も整っており、欧文の筆記に慣れていない人物によるものとは考えにくい。Sánchez Fuertes 師は、本文の筆者はチンチョン本人ではないが、その筆跡の質から判断して、カスティリヤ語を知る人物であるとする<sup>(7)</sup>。

チンチョン報告書に収録されている江戸の殉教報告と有馬の殉教報告は、他資料にも同内容の記事が見られるが、特にベルナルディーノ・デ・アビラ・ヒロン『日本王国記』の記述はチンチョン報告書と一致する部分が多い<sup>(8)</sup>。

## 2. チンチョン報告書の日本文字

チンチョン報告書には、毛筆による縦書きの日本文字の文章とそれに対応するローマ字書き日本語やスペイン語が記された箇所が4箇所存在する（①～④）。以下にその翻刻と、日本語については翻字を、スペイン語については翻訳を掲載する。

### ① AFIO 23-1, 15v09-24 日本文字、ローマ字書き日本語、スペイン語訳

Sent<sup>a</sup> en letra Castellana

di ze assi -

Cono monôdomo gofattouo

somuqui P<sup>e</sup> no xutey ni maca

rinari sono vye Cumingaxi

rauo tzu amatzurisoro ainda

cacunô gotocunari xichingua

chi ychinichi -

此  
もの  
とも  
御  
法  
度  
を  
そ  
む  
ぎ  
は  
て  
れ  
ん  
宗  
に  
罷  
成  
其  
上  
組  
頭  
を  
仕  
候  
間  
如  
此  
也  
七  
月  
朔  
日

En Romãze

Estos hombres porq̄ han q̄brã  
tado el fatto de su Alteza y se  
han hecho de la ley de los P<sup>es</sup> y  
sobre esso an sido Cabeças de  
coff[r]adías o Juntas sō castigados  
desta manera el primer dia de  
la septima luna. -

【翻字・翻訳】

カスティリャの文字による文章はこのようである－

此のものども御法度を／そむきパアデレの宗体に罷／り成り其の上組頭／をつ[か]まつり  
候間／かくの如く也 七月／一日

ロマンス語で

この人々は殿下の法度 (fatto) に違反し、そして神父たちの法になり、そしてそのうえ信心会や集団の頭になったので、この方法で処罰される。7の月の第1日目。

② AFIO 23-1, 18r01-13 日本文字、ローマ字書き日本語、スペイン語訳

Con ñra letraes.

Cono Juni yonin monôdomo cono  
yxen christan von aratameno  
toqui xuteiuo caye moxy so  
ro no yoxy isatzuuo itaxyâgue  
mata christãni macarinari so  
ro ainda cacu nōgotocu nari  
xichinguachi futzuca

En castillaes

Estos catorze hombres en la inquisicion passada q̄vuo contra x̄pnos,  
hizieron escriptura que dejauan de serlo y la entregarõ, y porque  
despues se boluierõ a hazer x̄pnos son castigados desta manera, a los  
dos dias 7<sup>a</sup> luna.

此拾四人もの此  
已前きりしたん御  
あらための時宗  
ていをかへ申候由一札  
を致指上又今度  
きりしたんに罷成候  
間如此也

七月二日

【翻字・翻訳】

我々の文字による。

此の十に四人ものども此の／已前キリシタン御あらための／時宗体を変へ申しそ／ろの由一札を致し上げ／又キリシタンに罷り成りそ／ろ間かくの如く也／七月二日

カスティリャ語で

この14の人々はキリスト教徒に対する以前の異端審問で、(キリスト教徒を)やめるという文書を作ってそれを引き渡した、そしてその後でキリスト教徒に戻ったゆえにこの方法で処罰される、7の月の2日。

③ AFIO 23-1, 23v14-24r10 日本文字、スペイン語訳

En letra de Japon

天地万物を被成御	一札
能造今生後生を	
はからひ給ふ御主 Ds	
一切人間をたすけ給	
わんために一生不ほん	
の母人より生れ給ひ我等か	
科送りとしてくるす	
に掛り給ふ御たすけて	
せすきりしとに對し奉て	
たとひあらけなき御	
成敗被成候とも世々未来	
ころひ申事有間敷候	
仍而如件	如安未木判
七月十三日	けれこりよ
判	

En Castellano

Nuestro Señor Dios que crio Cielo tierra y todas las demas cosas,  
q̃ gobierna y prouee las deste mundo, y las eternas y tocantes  
a la saluacion para saluar a todos los hombres nacio de vna se  
ñora siempre Virgen, verdadero saluador Jesu xpo, por redemir  
ñros peccados se puso en vna Cruz. Por amor de este señor aunq̃  
nosden Vss. Mss. muy cruel y terrible muerte, agora ninun  
ca Jamas zetro cederemos en testimonio desto vamos este res  
cripto en los treze dias dela luna septima Mibocu Jhoan fir  
ma Gregorio firma a los dos señores Bungiuis de los machis

【翻訳】

日本の文字で

〔日本文字「一札……けれこりよ判」〕

カスティリャ語で

天と地とその他すべてのものを創り、この世界を支配し与える我々の主であるデウス、永遠でありすべての人間を救うために永遠の乙女である女主人から生まれた、真の救い主イエズス・キリスト、我々の罪をあがなうために十字架にかけられた、この主の愛のためにととても残酷で怖ろしい死が与えられても、今も決して決して王権に屈することはない。この証書で、この布告のままに。7の月の13日。未木ジョアン署名。グレゴリオ署名。町(machis)の奉行たち(Bungiuis)へ。

#### ④ AFIO 23-1, 27r11-15 日本文字、スペイン語訳

<p>Sentencia en ñra lëgua  Estos Hombres por ser de la ley de los Padres  y por no querer mudarse de ella v dejarla  son castigados en la forma pressente a los  veynte y tres dela septima luna</p> <p style="text-align: right;">en Japon</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 間如此也  七月朔日 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> に罷成其上組頭を仕候  そむきはてれん宗 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 此ものとも御法度を </div> </div>	<p>【翻訳】  我々の言語による文  この人々は神父たちの法であることと、それを变えたり離れたりしようとしないうちに、この形の処罰である。  7の月の23（日）。  日本語で  〔日本文字  「此ものとも……  七月朔日」〕</p>
--	---

#### 2.1. 日本文字に対応する文章について

①と②の日本文字とローマ字書き日本語は、語句が対応していない箇所がある。

①…「はてれん宗」／「P<sup>e</sup> no xutey」 「朔日」／「ychinichi」

②…「拾四人もの」／「Juni yonin monôdomo」

「又今度きりしたんに」／「mata christâni」

また、④の日本文字はスペイン語訳と内容が大きく異なる。スペイン語訳では「7の月の23日」（los veynte y tres dela septima luna）とある箇所が、日本文字では「七月朔日」とあり、日付が合わない。また、④の日本文字は、①の日本文字とまったく同じ内容だが、それぞれ対応するスペイン語訳は後半の内容が異なっている。④の該当箇所に日本文字を書き記す際に、参照元となる日本文字の文書が別にあつて、それを取り違えてしまったのだろうか。

スペイン語訳文の文字も日本文字も、ともに迷いのない筆跡であり、それぞれの文字に通じた人物によって書かれたものであろう。日本語文とスペイン語訳の内容がこのように食い違うということは、両方の内容を同時に理解できる人物であれば、起こらないだろう。前述の通り、本文の筆者のスペイン語に対する理解度については諸説あるが、スペイン語と対応する日本文字の文章の内容が食い違っていることに気付かない程度の理解度だったということだろうか。あるいは、スペイン語本文の筆者と日本文字の筆者は別で、それぞれ分担して書いたのかもしれない。欧文と日本文字が混在するキリシタン資料の成立事情については、さらなる検討の必要があろう。

### 3. チンチョン報告書の日本語表記と『日本王国記』

上記の①～④の日本語文以外の本文中に見られる日本語彙<sup>(9)</sup>のローマ字表記について、江戸殉教報告の部分【表1】に、有馬殉教報告の部分【表2】に挙げる<sup>(10)</sup>。①～④と【表1】【表2】のローマ字表記を整理すると、次のようになる（誤記の可能性があるものや、人名のうち語形の確定が難しいものを除く）。

ア = a イ = i, y ウ = v エ = ye オ = o, uo, vo

カ = ca, cha キ = qui ク = cu, qu ケ = que コ = co, cho クワ = qua  
 ガ = ga ギ = gui グ = gu ゲ = gue ゴ = go グワ = gua ギョ = guio  
 サ = sa, za シ = xi, xy ス = zu セ = xe ソ = so  
 シャ = ja シュ = xu ショ = jo  
 ザ = za ゼ = je ゾ = zo ジャ = ja ジュ = ju  
 タ = ta チ = chi ツ = tzu, tz, tcu テ = te, the ト = to, tho チョ = cho  
 ダ = da ツ = ntzu ド = do ナ = na ニ = ni, ny ノ = no  
 ハ = fa ヒ = fi フ = fu ホ = fo ヒョ = feo, fio, feyo  
 バ = ba ビ = bi ブ = bu ベ = be ボ = bo ビョ = bio ポ = po  
 マ = ma ミ = mi, my ム = mu メ = me モ = mo ミョ = mio  
 ヤ = ya ユ = yu ヨ = yo ラ = ra リ = ri, li ル = ru ロ = ro  
 ワ = ua, va, gua

基本的にはイエズス会の表記と共通するところが多い。ガ・ダ・バ行音の前に n やティルダを挿入する例が多いが (Bunguio「奉行」、fondaxi「絆」<sup>はだし</sup>、Arimadono「有馬殿」、Mynbocu「未木」<sup>はく</sup>等)、これは当時の日本語における鼻濁音を示す表記と考えられ、イエズス会資料にもよく見られる。長音を示すアクセント記号が省略されているが、これも、イエズス会資料でも手稿類には見られる例である。

一方、イエズス会資料の一般的な表記とは異なるものもある。例えばリ = li は Olibetdono (織部殿) の例のみで、「織部」(Olibet) に不要な t があることから、特殊な例と考えられる。サ・ス = za・zu、シャ・ショ = ja・jo、テ・ト = the・tho、ツ = tz, tzu、ワ = gua など、特異と思われるこれらの表記は、実は『日本王国記』の日本語にも同じ表記が存在し、スペイン語の綴字の影響が指摘されている<sup>(11)</sup>。

『日本王国記』の表記について、土井忠生氏はこれをイエズス会などの教会の基準に拠らない、アビラ・ヒロンによる自由な綴字法としている。

キリシタンものが一定の基準を設けていたのに比べると、アビラ・ヒロンのローマ字綴りにはかなり自由さが認められる。もちろん、イエズス会の採用した綴字に学ぶところはあったにちがいないが、スペイン人として、スペイン語式の綴字を随時流用し、かなり便宜的方法を用いたようである。すなわち、日本語の音韻として重要な点であっても、スペイン語などで、これを欠くか、あまり問題とならないことは、必ずしも考慮せず、無視さえしている。<sup>(12)</sup>

しかし、チンチョン報告書の表記法と特徴が共通することから考えると、『日本王国記』の日本語の綴字をアビラ・ヒロン個人のものと言ってよいのかどうか、再検討が必要であろう。『日本王国記』の記事にはチンチョン報告書など他の文書を参照して書かれたと思われる箇所が多く、その表記を検討する際には、アビラ・ヒロンが参照したであろう原資料の表記による影響も考慮しなければならない。

なお、①と②のローマ字書き日本語の文章は、『日本王国記』諸本にもまったく同じものが記されている (日本文字の記載はない)。『日本王国記』の該当箇所の表記には諸本間で異同があるが、その中にはチンチョン報告書の表記と共通する特徴を持つものもある。チンチョン報告書と『日本王国記』諸本の表記を比較することによって、『日本王国記』の日本語のローマ字表記はアビラ・ヒロン独自のものであるのか、あるいはそれ以外の可能性があるのかを検証することができるが、これについては改めて別稿で述べることにしたい。

キリシタン資料の日本語に関する研究対象としては、まずイエズス会資料（版本、手稿類）があり、その他にはドミニコ会資料（コリヤードの著作等）、そして宣教師ではない商人アピラ・ヒロンの『日本王国記』がある。チンチョン報告書のようなフランシスコ会資料は日本語資料として取り上げられることが少ないが、同じスペイン系の資料であるドミニコ会資料や『日本王国記』との関連も視野に入れて、研究を深めるべきであろう。

日本語のローマ字表記について、スペイン系のキリシタン資料の中で、全般的に共通する表記規範が存在するのか、もし存在するならばそれはイエズス会資料の表記規範とどのような関係にあるのか、それを明らかにするのが今後の課題である。

【表1】AFIO 23-1 江戸殉教報告書の日本語（スペイン語本文中）

翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
浅草	6	Asacusa (5)	13r10, 16r13, 17r14, 18v05, 22r06
		Asaqua (1)	13r18
愛宕	1	Atango	8v21
阿弥陀	1	amida	11r23
イシハチビョーエ殿	1	Yxifachibioye dono	22v01
板倉ウレンシオ	9	Itacura Laurencio (2)	6r16, 14r16
		Itacura Laurentio (5)	7r08, 14r02, 14v14, 19v13, 19v22
		Itacura Lorenzo (2)	25v10, 35v10
市蔵ジャコベ	1	Ychizo Jacobe	35r
田舎 (複数)	1	Inacas	17v22
稲葉十兵衛殿	1	Ynabia Jubio dono	28r10
石見殿	1	Yuamindono	35v20
牛込	2	Vxingomi	16v06
		Vxingomy	16r22
上様	7	Vye Sama, Vyesama	13r22, 22r20, 22v10, 23r03, 26r03, 26r21, 26r25
江戸	18	Yendo	1v19, 2v07, 3v09, 4r13, 5v01, 16r05, 16r21, 16v04, 16v06, 17v04, 17v21, 20v22, 27v03, 27v24, 28r01, 30r18, 31v01, 35v01
乙名	4	othona (2)	5r12, 5r25
		Votona (2)	22r08, 22r12
乙名 (複数)	2	othonas (1)	19r08
		Votonas (1)	22r04
織部殿	1	Olibetdono	22r01
親 (複数)	1	oyas (cumyno oyas)	13v24
高野	2	Coya	8r25, 11v11
気質	3	catangue	18r25, 20v05, 29v08
忝なうござる	1	cataxiquinongozaru	17v16
刀	4	catana	1r12, 12v04, 32v17, 34v05
刀 (複数)	2	catanas	15r15, 16r10
帷子	2	Catabira, catabira	4v25, 13v07
片目ルカス	2	Catame* Lucas	14r11, 35r
神 (複数)	3	camis (2)	25r22, 32r17
		camys (1)	29r25
問者	1	canja	31v05
神田トメ	2	Canda Thome (1)	14r11
		Canda no** Thome (1)	35r
勘兵衛殿	1	Canbioye dono	23v09
喜左衛門マルコス	1	Quisayemon Marcos	35r
紀の国	3	Quino quinin	8r26, 10r16, 29v25
久助マルコス	1	Qusque Marcos	35r

翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
組	4	Cumi (2)	15r11, 17r17
		cumy (1), cumyno oyas (1)	13r07, 13v24
功力 (複数)	1	curiquis	31v15
五右衛門トメ	1	Guyemon Thome	35r
源左衛門ジョアキン	1	Guenzaymon Joachin	35r
源内ジョアキン	1	Guenay Joachim	35r
ゴ兵衛 (与兵衛?) グレゴリオ	3	Gofeoye Gregorio (2)	26v05, 35r
		Gregorio gofeoye	22r26
転んだ (名詞・単数)	1	Coronda	9r03
転んだ (名詞・複数)	3	corondas (2)	16r24, 16v21
		chorondas (1)	3v21
転んだ (動詞)	11	corondear (6)	4v02, 19r13, 20r10, 22r19, 22v25, 23v11
		corondeado (3)	22r24, 26r22, 31v14
		corondease (1)	26r14
		corôdeasen (1)	22v25
盃	3	sacantzuqui (1)	24v11
		Zacantzuqui (2)	21r07, 31v22
笹田ミゲル	11	Sasanda Miguel (9)	11v23, 12v14, 14v06, 14v17, 16r16, 22r07, 35r, 35v07, 35v23
		Sasanda Myguel (2)	13r04, 14r20
佐渡殿	1	Sandon dono	30r19
妨げ	1	samatangui	17r13
侍	3	Zamuray	12r03, 12v14, 31v13
侍 (複数)	2	Zamurays	22v03, 26r01
サン三郎 (半三郎?) アントニオ	1	Sanzabro Antonio	35r
下奉行 (複数)	1	xita bunguios	25v03
七月	2	xichiguatcu (1)	24r11
		xichinguatz (1)	25v25
將軍	1	Jongum	19r03
將軍様	5	Jongum Sama	7v03, 13r20, 19r11, 22v25, 26r07
釈迦	1	Jaca	11r23
汁	1	xiro	20r16
新五郎マティアス	1	Xingoro Mathias	35r
作内レオン	1	Sucunay Leon	35r
駿河	1	Zurunga	13r23
錢 (複数)	1	xenys	13r09
惣助ダミアン	1	SoVsque Damian	35r
ソクアン	1	soquan	26r13
大八 (岡本大八)	9	Dayfachi	2v06, 2v13, 2v18, 2v25, 3r11, 3r19, 16r24, 31r15, 31v02
大名	1	daimio	35v20
談合	1	danco	22r09
談義 (複数)	1	danguis	25v17
檀那	1	dana	1v01
知行	3	chingio (1)	22r21
		chinguio (2)	12r03, 13v06
長兵衛	1	Chobioye	23v04
寺	17	Tera (2)	8v04, 9r13
		Thera, theria (15)	1v24, 6r18, 6r21, 6v01, 9r09, 11r04, 11v12, 11v26, 12v01, 12v19, 13r06, 13r10, 16r15, 20r15, 31v06
寺 (複数)	3	Teras (2)	8v01, 32r12
		Theras (1)	31r17



翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
同宿グレゴリオ	3	Gregorio Doxico	35r
		doxicu Gregorio	16r15
		Doxinga Gregorio	26v04
トシュウト・ジョアン	1	Toxuto Joan	35r
殿	15	Thono (4)	10r17, 12v17, 20v21, 29v25
		Tono, tono (11)	2v22, 3r05, 8v16, 20v26, 21r04, 21v02, 21v10, 21v16, 21v19, 21v20, 30r14
殿 (複数)	4	Thonos (1)	20v14
		Tonos (3)	3v04, 20v04, 20v11
鳥越	2	Atoricoy (1)	14v22
		Toricoy (1)	26v06
乗物	1	norimono	33v13
坊主	12	bonzo, Bonzo (11)	1r26, 6r21, 10r24, 10v10, 10v12, 10v18, 10v21, 10v26, 11r16, 11r19, 11r25
		bôzo (1)	11r15
坊主 (複数)	5	bonzos, Bonzos	8v02, 10v24, 25r10, 25r23, 25r26
ハチクワン・ジョアキン	6	Fachiquâ (1)	14r15
		fachiquam (2)	7r22, 7v20
		Fachiquan (1)	14r02
		Joachim fachiquam (1)	16r07
		Fachiquam Joachin (1)	35r
法度	3	fato (1)	13r02
		fatto (2)	15v19, 22r21
播磨	1	farima	22v02
番	1	ban	22v24
彦左衛門シモン	1	Ficosayemon Simon	35r
兵四郎殿	1	Fioxirôdono	24v02
平兵衛 (ビセンテー)	1	Vizente feyoye	14r11
奉行	14	Bunguio, bunguio	4v05, 5v13, 7v05, 12v13, 14r01, 14r06, 15v05, 17r19, 17v05, 18v22, 20v11, 21v11, 25v19, 25v24
		Bunguios	4v21, 7r20, 7r26, 13r07, 16r15, 19r25, 22r15, 22r18, 22r24, 22v06, 22v18, 22v22, 23v07, 23v09, 24r10, 24v02, 24v05, 25v25, 26r02, 26r10
伏見	3	Fuxime (1)	18v13
		fuximi (1)	22v01
		Fuxyme (1)	21r12
仏法	13	bupo (6)	10v02, 10v02, 10v04, 10v13, 10v15, 11v10
		Buppo, buppo (7)	1v23, 8v09, 10r13, 10r25, 11r17, 23r06, 25r13
古田山城殿	2	Furta Yamaxirôdono	20v22, 22r01
振舞	1	furmay [furumay]***	21r07
豊後	1	Bungo	16r23
絆	4	fondaxi	7v15, 12v22, 22v17, 24v08
仏 (複数)	7	fotoques	2r05, 4r01, 11r23, 21v03, 25r22, 29r24, 32r13
盆	1	bon	25r09
負けた負けた	1	maqueta maqueta	10v20
孫兵衛パウロ	4	Pablo Mangobioye (1)	22v02
		Mangobioye Paulo (1)	35r
		Mangobe Paulo (2)	26v05, 26v10
町	10	machi	4v01, 5r07, 7r14, 7r23, 16r06, 16r09, 22v22, 23r04, 23v01, 24v02
町 (複数)	3	machis	18v25, 24r10, 25r10
町人 (複数)	1	machiundos	20v03
未木ジョアン	37	Mibocu (4)	23r04, 23v07, 24r13, 24r22

翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
未木ジョアン	37	Mybocu (8)	10v14, 24r15, 24v12, 25r05, 25v17, 26r10, 26r19, 26v10
		Mynbocu (1)	10r22
		Mibocu Jhoan (2)	23v12, 24r09
		Mybocu Jhoā (1)	22v22
		Mybocu Jhoan (1)	2r23
		Mybocu Joan (8)	6r16, 6v18, 7v01, 7v09, 7v25, 26r06, 26v04, 26v06
		Mymbocu Jhoan (1)	6v01
		Mymbocu Joan (2)	9r12, 9r22
宮	4	mia (3)	8v07, 9v23, 10v08, 10v12, 11r04, 11r06, 11r13, 11v08, 35r
		miya (1)	31v06, 31v10, 32r26
都	10	Meaco	29r22
			8v22, 9r13, 12r26, 28r10, 28v08, 29v14, 29v16, 30v17, 31r08, 31v09
門前のジョアン	3	Monjeno Joan	14r10, 16r09, 35r
弥兵衛アントニオ	1	Yayefeyoye Antonio	35r
屋形	1	Yachata	16r22
弥藏ミゲル	1	Yazo Miguel	35r
山城殿	3	Yamaxirodono (2)	22r16, 22v03
		Yamaxirōdono (1)	25v26
山城殿様	1	Yamaxirodono Sama	21r22
横目	1	Yucume	17r19
与四郎ディエゴ	1	Yoxiro Diego	35r
若衆	1	guacaxuis	30r07
和歌山	1	Guaca Yama	10r16
詫言	1	vabico to	26r12
(不明)	1	gua joxi	23v06

(注) \*「Catame」に抹消線あり \*\*「Canda no」に抹消線あり \*\*\*行間に「furumay」の書き入れあり

【表2】AFIO 23-1 有馬殉教報告書の日本語（スペイン語本文中）

翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
有馬	10	Arima	36r02, 36r11, 38v26, 39r12, 40v06, 41r09, 42r14, 43v21, 44r01, 44r02
有馬殿	1	Arimādone	42v23
いただき	2	itādaqui (1)	47r03
		itandaqui (1)	47r06
江戸	2	Yendo	36v23, 40r20
親（アニマの一）	1	Oya (anima no Oya)	44r24
帷子（複数）	1	cata biras	44r06
掃部殿	4	Camondono	42v24, 43r10, 43r23, 43r26
口之津	1	Cuchinotzu	44r02
左兵衛	3	Zafioye	40r17, 40r24, 42r03
大八（岡本大八）	2	Dayfachi	39r22, 39v01
太夫殿	1	Tayun dono	40r21
高橋主水アドリアン	3	Tacafaxi Mondo Adrian (2)	42v07, 47v24
		Tacafaxi Adrian (1)	45r02
武富勘右衛門レオン	7	Taquendomi Cañemon Leon (1)	47v26
		Taquendomi Cañemō Leon (1)	42v11
		Cañemon Leon (3)	42v18, 45r02, 45r03
		Cañemon (2)	42v20, 42v26

翻 字	用例数	用 例 (数)	丁・行
団右衛門パウロ	5	Dañemon Paulo	42v12, 43r01, 45r01, 45r04, 47v27
寺 (複数)	1	Theras	39v03
殿	11	Tono	39r13, 39r23, 39v01, 39v26, 41r09, 42r14, 42r26, 42v17, 42v21, 43v04, 47v03
長崎	7	Nangazaqui	36v21, 39r10, 40r17, 42r03, 42r14, 47r21, 47v17
乗物	1	Norimono	43v01
林田助右衛門レオン	3	Fayaxinda Suquyemon Leon (2)	42v07, 47v20
		Suquyemon Leon (1)	42v15
奉行	1	Bunguio	40r16
まだまだ	1	manda manda	44r26
町 (複数)	1	machis	43v24

(注) 「Cañemon」「Dañemon」の「ñ」は厳密には「上点付きの n」だが、スペイン語本文の他の使用例から「ñ」と同等なものと判断した。

# 【注】

- (1) 1977年にマドリード市内に AFIO が設立され、それまでグアダラハラ (Guadalajara) にあったパストラーナ文書館 (Archivo de Pastrana) は AFIO に引き継がれた。
- (2) ロレンソ・ベレス著・野間一正訳『ベアト・ルイス・ソテローロ伝 ― 慶長遣欧使節のいきさつ一』(東海大学出版会、1968) の第六章。原書は P. Fr. Lorenzo Pérez, O. F. M., *Apostoldado y Martirio del Beato Luis Sotelo en el Japón*, Madrid: Imprenta Hispánica, 1924。
- (3) Cayetano Sánchez Fuertes, OFM, “Relaciones de Diego de Chinchón OFM sobre la persecución de los cristianos de Edo (Tokio) y Arima (1612-1614)”, *Archivum Franciscanum Historicum* 108(2015), pp. 485-554。本論文にはチンチョン報告書の翻刻(日本文字の箇所は画像)が掲載されている。ただしこの翻刻は、現代スペイン語の正書法に準じた修正が施されており、本文中のローマ字書き日本語の表記にも部分的に手が加えられている。
- (4) Sánchez Fuertes 前掲論文 pp. 491-494、五野井隆史『日本キリシタン史の研究』(吉川弘文館、2002) pp. 356-357 の表を参照。五野井氏の表では国籍をポルトガルとするが、本稿では Sánchez Fuertes 師の説を採ってスペイン出身としておく。
- (5) ベレス・野間前掲書 p. 245 (第六章の註 2)。Pérez 原書 pp. 105-106 (脚注 2) に相当。
- (6) ここでいう「花押」とは、日本式の花押ではなく、ヨーロッパにおける署名の一部として、氏名の後に付される装飾的なサインのことである。
- (7) Sánchez Fuertes 前掲論文 p. 498。
- (8) Sánchez Fuertes 前掲論文 p. 497、ベレス・野間前掲書 p. 247 (第六章の註 23)。チンチョン報告書のうち、江戸殉教報告は『日本王国記』第 13-14 章、有馬殉教報告は第 15 章に相当する。
- (9) スペイン語文中の日本語語彙の識別に際し、Sánchez Fuertes 前掲論文の翻刻を参考にした。
- (10) 表中の人名表記については、『アビラ・ヒロン日本王国記 ルイス・フロイス日欧文化比較』大航海時代叢書 XI (岩波書店、1965) の該当箇所を参考にしながら、私に翻字した。
- (11) 土井忠生「アビラ・ヒロン『日本王国記』の日本語」、『吉利支丹論攷』(三省堂、1982) pp. 275-297。
- (12) 土井前掲論文 p. 276。

〔付記〕本稿は、外国資料研究会(2016年1月23日、愛知県立大学)および第4回キリシタン語学研究会(2016年3月24日、上智大学)で行った発表を発展させたものである。

本稿は平成27-30年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)(課題番号15K02564)および平成23-26年度科学研究費助成事業・若手研究(B)(課題番号23720228)による研究成果の一部である。

〔かわぐち あつこ 本学教員〕